

千葉県立流山南高等学校

—いつでも誰でも利用できる図書館であるために—

1 学校の紹介

(1) 概要

本校は昭和58（1983）年4月、地域のニーズにより流山の中心地に10学級の大規模校としてスタートした。人口の減少に伴い1学年4学級の時期を経て、現在は1学年8学級の規模となっている。平成5（1993）年に「スポーツ健康コース」を設置、4つあったコースは、平成15年度入学生から「教養コース」と「スポーツ健康コース」に改編された。「教養コース」は2年次のクラス編成において芸術類型（1クラス）・理類型（1クラス）・文類型（5クラス）にわかれる。

校舎は最寄り駅から徒歩6分の場所にあり、周囲にはホームセンター、大型スーパー、電器店などがあるが静かで落ち着いた環境である。教育活動を行ううえで好立地にあると言える。

(2) 教育目標

本校の校訓は「考燃而飛」（考え燃え而して飛ぶ）、「物事をよく考え、情熱を燃やし、そして、より高く飛躍しよう」という願いが込められている。

学校教育目標

- 1 自ら学ぶ意欲と主体的に生きる力を養い、心身ともに健康で、心豊かな人間の育成
- 2 責任と義務を果たし、礼儀正しく謙虚・誠実な社会に貢献できる人間の育成

教育方針

本校の教育は人格の完成を目指し、

- 1 知を愛し求道心に燃える青年を育成する。
- 2 徳をたつとび自他を敬愛する青年を育成する。
- 3 心身を鍛錬し喜びの発見に努力する青年を育成する。
- 4 国際的視野を養い、師弟の和熟を実現する学園の樹立を期す。

(3) 読書活動に関する目標

内規及び生徒手帳に下記のように定め、学校図書館教育に取り組んでいる。

本校図書館は、利用者にいつでも知りたい情報や読みたい本を迅速に提供できるよう、次の各項を活動の目的とし学校図書館教育を行います。

- ① 生徒および教職員の「知る自由」と「学ぶ権利」を保障します。
- ② 本校の教育課程の展開に寄与し、教育活動を支援します。また、生徒に豊かな読書環境を保障します。
- ③ 生徒自らが情報を収集し活用できるよう、環境を整備します。

2 自校の図書館の現状

本校図書館は、教室棟と特別棟をつなぐ2階廊下に面した位置にあり、生徒が利用しやすい環境にある。授業での利用が多いため、2つの授業の調べ学習が同時に展開できるよう座席は100席確保しているが、資料を広げレポートを作成するためには2クラス80人の利用でも難しいと考えている。同時時間帯に利用が重なる場合は授業担当者と相談し、1.5クラス程度の利用になるよう調整して使用してもらっている。

3 図書館運営

(1) 校内組織

教務部の中に図書係として、図書館運営に専任で携わる者（以後、「司書」と表記）と司書教諭の2名、他に図書委員会顧問（他分掌）として1名、計3名で運営している。司書室常駐者は司書のみで、司書教諭との連絡・調整がスムーズに行えない場合もある。

(2) 図書館のレイアウトの工夫 一奥に進んでみたくなる図書館を目指してー

今年度、図書館のレイアウトを大きく変更した。入り口近くに置かれた2m近い新聞の書架（過去の新聞がストックしてあった）を書庫に移動し、入り口から閲覧室の奥が見通せるようにした。入り口付近に新着本や特設コーナーを設け、生徒が足をとめて本を手に行きやすいようにした。さらに閲覧室中央に雑誌棚を置き、入り口からでも目に入るようにした。机・椅子のレイアウトは2クラス同時に使用することを考慮し、住み分けが可能な配置にした。同時に、生徒個人がリラクセスして利用できるよう、画一的な配置にならないよう考慮した。また、人と接するのが苦手な生徒でも閲覧室の奥に進んでいけるよう、動線を考えレイアウトした。さらに、机はなるべくひとつずつ離して配置し、空席ができないようにすることも心がけている。（机をくっつけてしまうと、隣り合わせた席が空席になってしまう場合が多い）



(3) 生徒や教職員に対する利用案内

① 生徒への利用案内

毎年、新入生オリエンテーションの期間に一クラス30分程度もらい、利用案内を実施している。入学したばかりの生徒にはまず、図書館に足を運んでもらう事を第一に考え実施している。

人気のある本や雑誌の紹介と利用方法の説明	15分
新入生に贈る言葉（話題になった人の言葉を配布）	5分
閲覧室を自由に見学（貸出可）	10分

資料「新入生に贈る言葉」

②教職員への利用案内

4月の職員会議で図書館の役割、本校の図書館が目指していること、授業等に対して行える支援について説明し利用の促進を図っている。

資料「いつでもだれでも利用できる図書館であるために」
「授業等での図書館の利用について」

③図書委員会活動

図書委員は利用者であると同時に学校図書館運営のスタッフであると考えている。図書委員が読みたい本があり、また楽しい場所であると感じているかどうか、利用状況に大きく影響するものと考え、日常の活動や文化祭など校内の活動だけでなく、校外での活動をとおして図書委員会活動を活性化したいと考え、以下の取り組みを行った。

a 日版での書籍の購入

毎年、夏休みの一日を使い、希望する図書委員とともに日版で書籍を購入。購入する本の条件は特に設けず、「自分が読みたい本」を選ぶように指示する。「図書館に入れるのにふさわしい本」などと規制してしまうと、生徒は選書できなくなってしまう傾向がある。「自分が読みたい本」と言っても、生徒は自然と自主規制しているようで、購入に悩むことは今までほとんどない。生徒が選んだ本は他の生徒にもよく読まれており、同世代の生徒が選書することの意義を強く感じている。

b 国立国会図書館の見学

国会図書館は基本的に18歳未満の利用はできない。高校生の利用は図書委員としての見学など一部の場合だけである。国立国会図書館の歴史やあり方を学び、蔵書や建物の構造、図書館員の仕事を見学した。参加にした生徒にはとても好評で、来年度も実施を望む声が多かった。

(4) 読書推進活動の取り組み 一 掲示・展示の工夫一

どんな本が入ったかが一目でわかるように、図書館前と生徒昇降口前の廊下に新着本の表紙のカラーコピーと「としょかん通信」(司書が発行)と「ライブラリーニュース」(図書委員が発行)を掲示した。また、図書委員おすすめのブックリスト、出版社のブックリストも2か所におき、自由に手に取れるようにした。さらに、図書館入り口近くに「特設コーナー」を設置し、映画やドラマの原作本、話題になった出来事などを定期的に入れ替え展示している。

資料「としょかん通信 第2号」「としょかん通信 第4号」

(5) 学習等に関する支援

①教科との連携—調べ学習の支援—

年間の図書館利用時間は、毎年200時間を超えている。複数の教科から同時期に資料を依頼されることもある。本校蔵書で不足する場合は、県立図書館・流山市立図書館・近隣の高校から借り受け提供している。同時期に200冊近くの本を借り受けたこともあった。今年度も地理・芸術・家庭科を中心に多くの教科で利用された。

授業担当者が望む資料、生徒が利用しやすい資料を提供することは連携の基本であるが、それだけでなく、利用する生徒の1.5倍の冊数を準備できるよう心がけて取り組んでいる。

資料が少ないと生徒は情報を選択することができない。残った資料を使い不本意な状況でレポートに取り組むことになってしまう。それは授業の展開にも影響を及ぼすことになる。そのような状況を少しでも減らし、積極的に課題に取り組めるようにしたいと考えている。

《図書館の利用時間》 *平成 28 年 1 月 25 日現在

4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月
24時間	14時間	32時間	7時間	54時間	12時間	22時間	5時間	33時間

②公共図書館・近隣高校との連携

県立西部図書館の協力を得て相互貸借を行っている。本校には毎週水曜日に県立西部図書館の巡回車がきて、通い箱の受け取り・受け渡しを行っている。また、司書有志で構成している「本貸してネット」で調べ学習のテーマや借りたい資料をメールで依頼し、相互貸借の取り組みを続けている。同じ内容で複数冊必要な場合にはとても有効な方法である。配送は県立西部図書館の巡回車を利用させてもらっている。授業担当者が行いたい授業を可能にするためには、本校の蔵書だけでは足りない場合が多く、他館・他校との協力は欠かせない。

《図書館を利用した授業・使用した資料》 *平成 28 年 1 月 25 日現在

実施月	教科・科目	課題・テーマ	用意した資料	借り受けた本
4月	芸術（美術）	寄木細工風の壁掛け時計の制作	寄木細工の作品集、幾何学模様の本、和を中心とした文様集	31冊
	芸術（美術）	飾り扇子の制作	日本画や絵巻に出てくるような絵（牛車・竹林や虎・蝶・十二単衣など）	46冊
	英語	英語で日本を紹介する	日本の文化・歴史など日本に関する本（自校蔵書で対応）	0冊
5月	理科	各自課題を見つけ研究	実験の動機づけになる本	37冊
	理科	紙飛行機の滞空時間・距離を競う	良く飛ぶ紙飛行機の作り方がわかる本	11冊
	芸術（美術）	色面構成の学習	都会の建物（ビル）や日本家屋など、面割しやすい写真集	57冊
6月	体育	スポーツの歴史について調べる	スポーツの発生、歴史がわかる本	73冊
9月	家庭科	刺し子の布巾を作成	刺し子の作品集、デザインの参考にできる本	24冊
	家庭科	①絵本を5冊読みレポート ②保育園児に読み聞かせをする	保育園児の年齢を中心に、幅広い絵本を用意	141冊
	家庭科	園児のお弁当をつくる	時短、手間のかからないおべんとうのレシピ集（キャラ弁は除く）	62冊
	芸術（書道）	自分の好きな言葉・文字を選び色紙に書く	マンガ・物語の中の名言、詩などの本を使用（自校蔵書で対応）	0冊
	芸術（工芸）	木彫の壁掛け飾りの制作	花や葉・木の実などアップで写っている図鑑・写真集	84冊
10月	芸術（工芸）	螺鈿の小箱の制作	日本画集や日本伝統文様集	39冊
	数学	数学に関する本を読みまとめる	数学・数学者に関する本（自校蔵書で対応）	0冊
1月	地理	自分の好きな国について調べる	世界の国々に関する本、旅行ガイドブック	145冊
	音楽	音楽に関する知識を深める	音楽に関する本（自校蔵書で対応）	0冊
	家庭科	①世界の料理について調べる ②朝食メニューを考え調理実習	世界の朝食・料理に関する本、朝食のレシピ本	66冊
	芸術（美術）	革の財布（カービング技法）制作	革工芸の技法の本、デザインの参考にできる文様集・絵画集	57冊
合 計				873冊



県立西部図書館の巡回車。

借り受けた本



調べ学習が終わって返却の準備。学校別に梱包作業中



4 成果と課題

【図書館としての取り組み】

今年度は、図書委員会活動の活性化、教科との連携を中心に学校図書館運営を行い、「としょかん通信」や新着図書の案内を昇降口近くに掲示し、読書意欲の喚起に取り組んできた。掲示を見て本を借りに来る生徒も増えている。閲覧室を生徒の動線を考慮したレイアウトに変更したことで、展示コーナーなど、本の情報を生徒が目にする機会が増えた。立ち止まって見ている生徒も多かった。読書活動を推進するためには、さらに能動的な働きかけが必要である。

【司書教諭としての総括】

本校は教務部の中に図書係として位置づけられており、教務部の仕事に時間の多くを取られてしまうため、司書教諭としての役割が十分に果たせていない。図書館活用の充実を図るためには、図書係の増員や司書室に常駐できる教員を増やすなどの措置が必要である。また、司書教諭に対して、授業の軽減などの措置もあるとありがたい。

今年度も地理や家庭科、芸術等の教科で図書館を活用した授業が行なわれた。さらに教科の利用を促すためには、まず司書教諭が図書館を活用した授業を実際に展開し、教員にこんな授業もできるという情報提供をしていく必要がある。今後、幅広く図書館を利用してもらえるよう今年度の反省を生かし、教職員に働きかけていきたい。

また、学年との連携も進めていきたいと考えている。来年度から学年の中に図書係を設置し、図書館（資料）を使った修学旅行の事前学習等を検討していきたい。学年の図書係を通じて学校行事や進路学習等で図書館の利用を働きかけ、教科以外でも図書館との連携を充実させていきたい。

授業で使用する資料の選定等は本の専門家である司書と授業担当者が直接連絡を取り合う体制を作ることが望ましいと考える。司書教諭は、学校行事や進路学習など図書館利用の推進と学校全体への働きかけ、連絡調整を図るコーディネーターの役割を果たす必要があると考える。

【専任で学校図書館運営に携わる者（司書）としての総括】

司書教諭と司書の連携は司書が専任か否かで大きく異なる。高校のように「学校司書」の制度はないが、「実習助手」の立場で、正規の職員として専任で図書館に携わっている人がいる場合は、その人（司書）が学校図書館運営の中心となっていることが多い。しかし、専任の司書がいたとしても、一人では十分に行うことは不可能である。法制化された「学校司書」は教育的分野にも関わることが期待されている。探求型学習を行う場合はTTで関わる場合が多く、継続的な図書館運営を行うためには正規職員で配置されることが望ましい。また、授業及び委員会指導等においても直接生徒に関わっており、時にはカウンセラー的な役割を果たすこともあるため、教育職で配置することが望ましいと考える。

授業担当者との打ち合わせは、各図書館に資料の依頼をする司書が中心となって行った方がスムーズに行えると思われる。授業の展開や揃えてほしい資料など、授業担当者の考えが第三者を介することによってうまく伝わらないことが多々あるからである。

学生時代に探求型学習を経験している教員は少ない。どのように図書館を使えばいいの

かわからないという教員も多い。学習指導要領にはどの教科にも学校図書館の利用が求められており、アクティブ・ラーニングが推進される中で学校図書館の果たすべき役割はとても大きい。司書教諭が積極的に関わり助言することで、教員の意識は変わってくる。司書教諭は探究型学習や読書教育を推進する立場で、実践者及びコーディネーターとして関わってほしいと思う。一人でも多くの教員が授業で図書館を使用できるようになってほしいと願う。

学校図書館は、読書センター・学習センター・情報センターとしての役割を担う。教科の連携など、サポート的な立場に関わることが多いが、利用案内・指導だけでなく、あふれる情報をどのように収集し、読み解き、表現すればいいのか、リテラシー教育にも積極的に関わっていく必要がある。さらに、これからはシチズンシップ教育に学校図書館はどのように関わっていけるのか、その取り組みについても考えていきたい。学校図書館が持つ教育力をあらためて追求し、司書教諭・授業担当者とともに「学校図書館教育」を推進していきたい。

実践報告1 美術

芸術類型クラスは2年次6単位、3年次4単位の芸術の授業がある。美術・工芸の担当教員は3人おり、年間をとおして資料の依頼がある。

【図書館の取り組み】

- 【依頼例】 革のベルトの制作…文様集など、デザインの参考になる本を使用したい
- 扇子・螺鈿の小箱の制作…日本画集や和の文様集の本を使用したい
- グラスリッツェンの制作…日本画及び世界遺産の本を使用したい

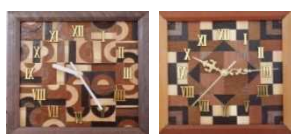
授業担当者が生徒に求めるもの、デザインの方向性が決まっている場合は、単に画集や文様集を用意しただけでは要望に応えることは出来ない。資料を他館に依頼する図書館側の担当者（主に司書）が授業担当者の思いと求めることをイメージできた時に初めて、充実した資料提供ができると言える。授業担当者との綿密な打ち合わせはどの教科にとってのも不可決であるが、さらに、生徒に求めることを授業担当者と共有することが大事である。

【授業担当者の思い—授業で図書館を使う意義—】

美術の授業では、自分自身の想いや心に描いたもの・イメージしたものを造形的に表現する。そのため、観賞する力や観察する力、イメージする発想力を育て、自分の構想したものを自分の思い通りに表現することが求められる。そのため、作品制作に取り組むにあたり、多くの画集や美術書、また関連した資料本を活用することで、芸術的アプローチを広くし、一人ひとりの持つ感性を磨き、より良い作品制作に導いていきたいと考えている。そのため図書館を利用した授業展開を計画した。

美術の授業では、特に発想を必要とする作品制作などでは、アイデアが浮かばない生徒も少なくない。また生徒が教科書に載っている作品以外の作家の作品に触れる機会も乏しい。図書館を利用し、多くの芸術作品や関連本に触れ、美的対象と出会うことは、美術に対する興味関心を高め、新たな発見や自分の世界観を思い描くことに繋がると考えている。実際に図書館において生徒は多くの作品と出会い、そこから得られた刺激から自分の世界を表現し、作品に活かすことがスムーズにでき、概ね良い結果を生み出している。生徒に自分自身しか表現できない作品を追及させ、喜びと自信を持たせるための方法として、図書館を利用した授業展開は効果的であると思う。

図書館を利用するにあたり、司書の支援・協力によって、常に要望以上の的確な画集や美術書、関連資料を準備していただき、授業は円滑に充実したものとなった。あらためて、本校の図書館の充実と司書の支援・協力の重要性を実感した。



寄木細工風壁掛け時計

螺鈿の小箱

実践報告2 地理

資料 「学習指導案」「本のしくみを学ぼう」

【図書館の取り組み】

図書館利用期間 1月13日（水）～1月21日（木） 4クラス×4時間

授業担当者からは12月中旬に連絡をいただき、利用する期間、人数、生徒に求めること（何を調べさせるのかなど）、どんな資料が必要かを聞き資料を揃えた。1月に調べ学習が入ることは年度当初にわかっていたため、本校の蔵書構成を見直し『地球の歩き方』（ダイヤモンド社）『エリア・スタディーズ』シリーズ（明石書店）を中心に約80冊購入。その他に県立図書館より「高等学校・特別支援学校用セット」から「異文化理解」のセットを4セット（それぞれ違うテーマ）借り受けた。

準備した資料は200冊を超え、資料の少ない国で2冊、多い国で6冊は準備できた。しかし調べる国が同じクラスで3～4人いた場合違う国に変えざるを得ないケースがあった。これは生徒の調べたい気持ちに影響し、レポートの出来にもつながることになるので、授業担当者・図書館側ともに、生徒の希望を事前に把握しておく必要がある。

図書館での最初の授業で、初めの15分を図書館の利用指導にあてさせてもらった。分類について、本の探し方、調べ方などを中心に話をした。

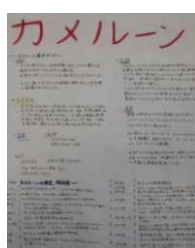
【授業担当者の感想】

社会科の授業は全般的に説明することが大変多く、講義調の一斉授業になりがちである。新しい学習指導要領では、思考力、判断力、表現力等をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養うため、言語活動を充実することとしている。高等学校において取り上げる言語活動として、他国の歴史・文化・社会などについて調べるとある。そこで、図書館を利用した調べ学習を計画し、授業の改善をはかろうと考えた。

1年生の地理Aの授業では、2学期後半から「世界の諸地域の生活・文化」という地誌の単元に入り、3学期にまとめとして世界の国々についてのレポートを調べ学習に充てようと計画した。今回たまたま図書館を利用した授業についての視察を依頼されたが、参考図書や資料の準備から日本十進分類法の説明など、司書の飯島先生に協力してもらい授業を行うことができた。生徒の反応は、自分の好きな国について時間をかけてゆっくりと調べることができて、興味関心を深めることができた。また、自分でレイアウトを決めて自由に作業することができたこと自体楽しかったと、概ね良好的な意見が多かった。

授業後の研究協議では、大学の先生からは、図書館を利用して授業を行う上での準備の仕方や工夫すべき点について、またレポートについてのアドバイスも頂き大変参考になった。指導課の先生からは司書教諭の役割についての説明があり、本校の図書館の充実したあり方について改めて考えさせられた。

図書館を活用した授業を実施するには、司書との連携や協力が重要なことを実感した。早めに授業計画を立て協力体制を築くことが授業を成功させるカギであると思う。



地理歴史科（地理A） 学習指導案

千葉県立流山南高等学校
教諭 神山 太郎

- 日時・場所 平成27年1月13日（水）第2限 図書室
- 学 級 1年2組（男19名、女22名、計41名）
- 学 級 観 落ち着いたクラスで、授業態度・学習態度は真面目であるが、発問に対して自分の考えを言える生徒が少なく、積極的な発言が見られない。今回の学習テーマは自分の興味・関心のある国についての調べ学習なので、生徒が主体となって意欲的に自分の課題に取り組めるようにしたい。
- 使用教材 『高等学校新地理A』（帝国書院）、『標準高等地図』（帝国書院）
世界の国々を扱った図書
- 単 元 世界の諸地域の生活・文化
- 単元目標 各国の歴史や文化、そこに住む人々の生活などについて調べ、地誌への興味関心を深める。
- 指導計画（計18時間）

（1）中国の生活・文化	3時間
（2）韓国の生活・文化	2時間
（3）東南アジアの生活・文化	3時間
（4）インドの生活・文化	2時間
（5）アフリカの生活・文化	3時間
（6）ロシアの生活・文化	2時間
（7）自分の興味関心のある国を調べる	3時間（本時1/3時間）

8 単元の評価計画（評価規準）

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
調査する国に対する関心を高め、意欲的に課題に取り組んでいるか。	調査する国が抱える問題や課題について考察できたか。	課題に必要な資料を選択し、効果的に利用し文章や図に表現できるか。	調査している国の特徴をつかみ、現代世界の動きを捉えられたか。

- 本時の目標 適切な資料を選択し、調査している国の地理的位置や歴史、文化について理解しながらレポートを進める。

10 本時の授業展開

段 階 (配当時間)	学習内容・学習活動	学習活動の支援・指導上の留意点
導入① 導入② (10分)	・新聞の発表 ・調べ学習における一般的な説明	・時事対策として2名の生徒に新聞の発表をさせる
展開 (35分)	・参考図書の選択 ・レポートの書き方（図や表、色鉛筆での着色） ・テーマに沿ってレポートを進める	・資料の選択についてのアドバイスを行う ・昨年度の参考作品を紹介する ・机間巡視しながら、個々のテーマに沿った進み具合を確認する。
まとめ (5分)	本時のまとめ 次時の予告	・課題レポートの進捗状況を把握し、次回も同じような要領で進めることを確認する。 ・資料が不足する場合は個人で準備しておくことを促す。

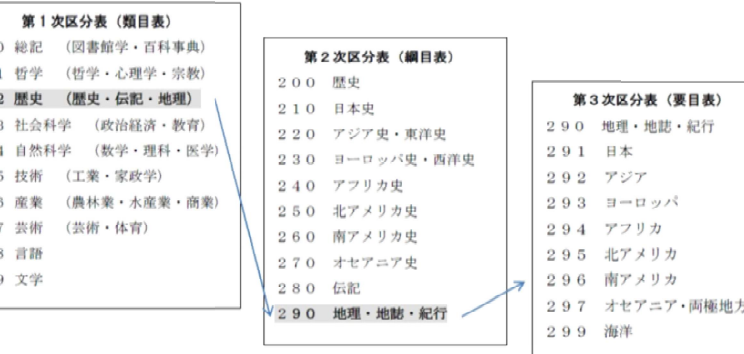
本のしゅみを学ぼう！！

1 分類

流南の図書館には20000冊を超える本があります。それらの本がバラバラに置いてあったら、読みたい本を見つけるのは大変ですよ！？ そこで、同じような内容の本ごとにグループを作り、番号をつけて探しやすくしました。それを「日本十進分類法」と言います。この分類法は日本の図書館が使っている全国共通の番号です。

2 「日本十進分類法」のしゅみ

国語・理科・社会など、すべての情報を大きく10のグループに分けます。さらにその一つのグループを10に分け、さらにこまかく分けていきます。10のグループは0～9まであります。数字にはそれぞれ意味があり、本を探すときにはこの数字を参考にします。



3 今回調べることは…

世界の国々について調べます。調べたい国を決めたら本を選びましょう。調べたい内容によって本を置いてある場所が違います。

- ・歴史を調べたいときは→220～270
- ・地理を調べたいときは→292～297
- ・文化・経済などを調べたいときは→302
- ・服装・住まいについて調べたいときは→383
- ・食べ物について調べたいときは→596
- ・言葉について調べたいときは→820～890

わからないことがあったら、司書の飯島に聞いてくださいね！！

いつでも誰でも利用できる図書館であるために

～学校図書館の役割と活用方法～

教務部 図書係

2015.4.9 (木)

本校図書館は、利用者にいつでも知りたい情報や読みたい本を迅速に提供できるよう、次の各項を活動の目的とし学校図書館教育を行います。

- ① 生徒および教職員の「知る自由」と「学ぶ権利」を保障します。
- ② 本校の教育課程の展開に寄与し、教育活動を支援します。また、生徒に豊かな読書環境を保障します。
- ③ 生徒自らが情報を収集し活用できるよう、環境を整備します。

図書館の基本は、生徒・職員が必要とする資料を提供し、学習の場を保障することです。
そのためにさまざまな形でサービスを行います。

1. 「たのしい読書」を保障するために

リクエスト制度

生徒の興味・関心はさまざまです。一人ひとりのリクエストに応え、必要とする資料の提供に努めます。また、一人の生徒が要望した本が次の読者を呼び込むことが多々あります。生徒の知りたい気持ちを大事にし、蔵書を構成していきます。リクエスト制度の充実が読書推進につながると考えています。

生徒にあった資料を提供するために、レファレンスサービス（情報・資料探しの指導・援助）の充実が必要です。膨大な情報が氾濫するなかで、必要な情報を収集し選択するためには、その能力が必要となってきます。レファレンスサービスなどを通じて、情報リテラシーを育てたいと考えています。

レファレンス

「場」としての図書館

生徒が自由に利用できる図書館は、クラス・部活動とは別の交流の「場」でもあります。図書館（の資料）を通じて、学年を超えた新しい人間関係を形成する生徒もいます。また、居場所を求めた生徒が気軽に利用できる「場」の保障も必要です。

2. 教育活動を支援するために

授業や学校行事などの教育活動を支援するために、必要な資料提供を行います。また、図書館の資料を使った調べ学習などには、担当者と事前打ち合わせをし、生徒が活用できる資料を収集し提供します。

教科・学年との連携

相互貸借

授業等で必要とする資料が本校にない時、あるいは不足している場合は、県立西部図書館・流山市立図書館から借り受けます。両館とも団体貸出ができるので、最高200冊まで一ヶ月間借りることができます。特に県立西部図書館は毎週水曜日に巡回車が本校を經由しているため、資料の受け取りがスムーズにできます。また、近隣高校と相互貸借を行っているため、同じ書名・テーマの本を複数冊揃えることができます。

授業等での図書館の利用について

教務部 図書係

2015.4.9 (木)

1. 授業で図書館を利用する際の手続きと注意

- ・司書室入り口にある利用表に、利用時間・教科・担当者名を書いて予約してください。
- ・予約が重なった場合は、合同で利用していただく場合もあります。
1クラス(41人) + 選択(20人程度) = ○ 2クラス(82人) = ×
- ・自習時は、生徒だけの利用は原則できません。必ず監督の先生がついて利用してください。授業で使用する資料をその授業中に探したい場合など、担当の先生から連絡があった場合は可能です。

2. 探求型学習（調べ学習）等を実施するとき

図書館では授業や学校行事などの教育活動を支援するために、必要な資料提供を行います。授業等で必要とする資料が本校にない時、不足している時は、県立西部図書館・流山市立図書館・近隣高校（松戸・東葛地区を中心に18校とネットワーク）から相互貸借を行っています。県立西部図書館・流山市立図書館とも「団体貸出」で借りることができます。

《団体貸出の利用方法》

★県立西部図書館

利用期間 一ヶ月（予約が入っていなければさらに一ヶ月利用できる）
貸出冊数 最高200冊
利用手順 テーマ・学習内容・期間などを司書（飯島）に連絡

↓
司書から県立西部図書館等にレファレンス、貸出の申し込みを行う

↓
借り受け（毎週水曜日 9:00 過ぎに県立図書館の巡回車が本校に配送）

★流山市立図書館

利用期間・冊数とも県立西部図書館と同じ。

* 県立図書館および高校図書館に依頼してから本校に届くまでに約一週間かかります。

テーマ・学習内容等が決まりましたら、早めにご連絡いただくと助かります。

★近隣高校とのネットワーク（「本貸してネット」）

* 20校で構成（司書有志による）

水曜日巡回…流山南高校・流山おおたかの森高校・沼南高校・沼南高柳高校・松戸六実高校・柏陵高校・松戸国際高校

木曜日巡回…県立松戸高校・松戸馬橋高校・小金高校・流山高校・市立柏高校・麗澤高校・船橋古和釜高校・市川東高校・松戸向陽高校

金曜日巡回…我孫子東高校・浦安高校・行徳高校・市川南高校

* 県立西部図書館の協力車が巡回している学校は39校あります。



新入生に贈る言葉



最近、私が出会った気になる言葉を集めてみました。

「つくく」さんの言葉 母校の近畿大学入学式の祝辞より

なぜ、今、私は声にして祝辞を読みあげることが出来ないのか…それは、私が声帯を摘出したからです。去年から喉の治療をしてきていましたが、結果的に感が治りきらず、摘出するより他なかったから、一番大事にしてきた声を捨て、生きる道を選びました。(略)

ここまでの人生はもしかしたら受け身だった人もいるかもしれませんが、親が言うから…学校の先生がすすめたから…でも、もうすぐ皆さんは成人します。もう自分の人生を歩んで行くんです。後悔しても意味がないんです。今から進んでいくんです。自分で決めて進んで行けば、絶対に何かを得、そしてまた次のチャンスへと繋がっていくんだと思います。

私も声を失って歩き始めたばかりの1回生。皆さんと一緒にです。こんな私だから出来る事、こんな私にしか出来ない事。そんな事を考えながら生きていこうと思います。(略)

皆さんもあなただから出来る事、あなたにしか出来ない事。それを追求すれば、学歴でもない、成績でもない、あなたの代わりは無理なんだという人生が待っていると思います。

仲間や友人をたくさん作り、世界に目をむけた人生を歩んでください。私も皆さんに負けないように、新しい人生を進んで行きます!! (略)

(2015年4月4日 近畿大学入学式より)

電車の広告より

「男子よ、本を読みなさい。」

電車の中で見つけたある予備校の広告の見出しです。思わず、「男子だけ? 女子は?」と思っていたら、続きがありました。その先が気に入り、思わず最後まで読んでしまいました。続きは・・・

「本をよく読み、考えることにより育まれる読解力は、あらゆる学力の基礎。その読書を好きな割合も読解力も、世界的に女子が高い傾向です。男子読書、ゲームだけでなく読書の習慣も身に付けてみませんか。」

そう言えば、流石も女子の方がよく本を借りているような・・・

男子、持って来なさい!! もう女子も…好きの本を見つけて来てね!!!



数年前のホンダのテレビCMより

「頑張っていればいつか報われる。持ち続けられれば夢は叶う。そんなのは幻想だ。たいてい努力は報われない。たいてい正義は勝てやしない。たいてい夢は叶わない。…けれど、それがどうした。スタートはそこから。新しいことをやれば、必ずしくじる。腹が経つ。だから寝る時間、食う時間を惜しんで何度でもやる。さあ、昨日までの自分を超えろ。…」

信州大学学長の言葉 信州大学入学式より

(略) スマホ依存症は知性、個性、独創性にとって毒以外の何物でもありません。スマホの「見慣れた世界」にしていると、脳の取り込み情報は低下し、時間が遠く過ぎ去ってしまいます。「スマホをやめますか、それとも信大生をやめますか」スイッチを切って、本を読みましょ。友達と話をしましょ。そして、自分で考えることを習慣づけましょ。自分の持つ知識を総動員して、ものごとを根本から考え、全力で行動することが、独創性豊かな信大生を育てます。(略)

(2015年4月4日 信州大学入学式の学長の挨拶より)

遺族代表の菅原彩加さんの言葉 東日本大震災4周年追悼式より

私は東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県石巻市大川地区で生まれ育ちました。小さな集落でしたが、朝学校へ行く際すれ違う人々が「彩加ちゃん! 元気にいってらっしゃい」と声をかけてくれるような、温かい大川がとても大好きでした。

あの日、中学の卒業式が終わりに家に帰ると大きな地震が起き、地鳴りのような音と共に津波が一瞬にして私たち家族5人をおびやみしました。

しばらく流された後、私は運良く瓦礫(がれき)の山の上で流れ着きました。その時、足下から私の名前を呼ぶ声が聞こえ、かき分けて見てみると釘や木が刺さり足は折れ変わり果てた母の姿がありました。右足が挟まって抜けず、瓦礫をよけようと頑張りましたが私一人にはどうにもならないほどの重さ、大きさでした。母のことを助けたいけれど、ここに居たら私も流されて死んでしまう。「行かないで」という母に私は「ありがとう、大好きだよ」と伝え、近くにあった小学校へと泳いで渡り、一夜を明かしました。

そんな体験から今日まで4年。

あつという間、そしてとても長い4年間でした。家族を思って泣いた日は数えきれないほどあったし、15歳だった私には受け入れられないような悲しみがたくさんありました。全てが、今もまだ夢の様です。

しかし私は震災後、たくさんの「諦めない、人々の姿」を見てきました。震災で甚大な被害を受けたにもかかわらず、東北にはたくさんの笑顔があります。「皆でがんばっぺな」と声を掛け合い復興へ向かって頑張る人たちがいます。日本中、世界から東北復興のために助けの手を差し伸べてくださる人たちがいます。そんなふるさと東北の人々の姿を見ていると「私も震災に負けてないで頑張らなきゃ」という気持ちにいつもなることが出来ます。(略)

津波でんでんこ

でんでんこは各自のこと。海岸で大きな揺れを感じたときは、津波が来るから肉親にもかまわず、各自ででんばらばらに一刻も早く高台に逃げて、自分の命を守れ—という意味。



これから3年間、いろいろな情報を見て、聞いて、感じて、なぜ? どうして? を考えてくださいね。

もうだ!!

図書館に行こう

としかん通信

第2号
2015.6.16(火)
流山南高校図書館
発行

最近、3年生だけでなく1・2年生も進路関係の本を見ている人が増えています。図書館には進路に関する本がいろいろあります。たとえば・・・

『就職体験完全ガイド』全3巻
『福祉の仕事』(勤労介護士・作業療法士など)、『くらしを支える仕事』(警察官、消防官など)、『エンターテインメントの仕事』(お笑い芸人・俳優・歌手など)、『おしゃれにかかわる仕事』(美容師・モデル・ファッションデザイナーなど) 等

『しごとば見学!』シリーズ ～○○で働く人たちに～
『病院』『ホテル』『スーパー』『コンビニ』『駅』『保育園・幼稚園』 等

『本選のとうとうどうなの?』『○○のの仕事』と『正体!がよ〜わ〜わかる!』シリーズ
『航空マン』『公務員』『広告マン』『コンサル』『タレント』 等

ぜひ利用してくださいね!!

●受験ガイドの本
『受験・関心』『資格・職業』『学問の内幕』から自分にあった学部・学科がわかる!

●『資格・検定・職業ガイド 高校生のための仕事図鑑』
『大学・短大・専門学校』について、この資格が取りたい!』『専攻の中にはどんな資格や職業があるの?』などを考えている人必見。仕事の内容、高校卒業後のルートや、資格試験情報や大学、地方自治体、民間企業での活躍の場など幅広く紹介!

この他に「なまにはBOOKS」(約100種類の職業の案内)があります。

どの1 6月15日は「千葉県民の日」
明治4年(1871)の藩置廃止により、館山県、佐倉県など24の県が生まれました。その後、上総・安房の地域は木更津県となり、下総の地域は印旛県となりました。
明治6年6月15日に木更津県と印旛県を合わせて千葉県が誕生しました。この日を記念して、千葉県の人口が500万人を突破した昭和59年(1984年)に県民の日が制定されました。

今日は何の日??

どの2 6月16日は「和菓子の日」
今からの千年以上前の平安時代中期のこと。都で疫病が流行したとき、天皇に白い菓子が献上されました。これを古名と考えた仁明天皇は848年6月16日に元日を「菓日」と定め、16種類の和菓子を神前にお供え、疫病退散、健康、招福を祈願しました。これにより疫病が治まったことから、毎年6月16日に「菓日」の行事を行い、和菓子を食べる風習が生まれ、江戸時代まで続きました。この習慣の復活を願って、昭和54年(1979年)に全国和菓子協会が定めました。
*「菓日(かじつ)」は「めでたらしい日」という意味。(総務省統計局等のHPを参考にしました)

今の時期、和菓子屋さんにはいろいろな和菓子が並びます。ちょっとのぞいてみてね。和菓子が食べたくなる本を紹介!!

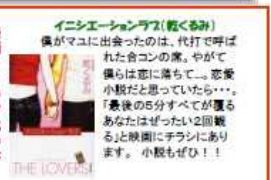
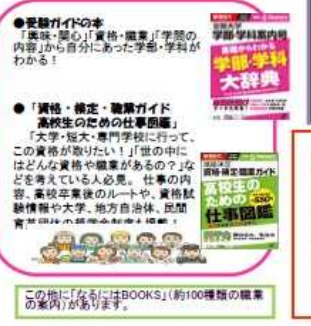
和菓子のアン(増水町)
高校を卒業してデパート地下の和菓子屋・みつ屋でアルバイトを始めたアンちゃん。お店にはいろいろなお客さんが来店します。ミスティアスな出来事にも遭遇することもある・・・。ちょっとぼっちやりに癒されるアンちゃんとの個性的な店員とのやり取りも楽しい。おはぎは名前で七変化するって知ってた? 「ぼたもち」「おはぎ」の他に、「月知らず」「北窓」「夜飯」など。この本を読むと和菓子が食べたくなくなります。

和菓子 WAGASHI
和菓子の歴史、材料とつくり方、季節の和菓子の紹介など、読んで見ても楽しめる本。

お待ちしてませう 下町和菓子第九堂(似島前)
流山の一角にある和菓子第九堂。雨籠がなく、店を継ぐことになった。船の森のことで悩んでいた時に菓店店のマスターが紹介してくれたのが、「和菓子のお嬢様」と呼ばれている葉太郎。和菓子がもたらす感動に二人はいつか再会することになる。

文化祭の本あります。
文化祭の企画案は進んでいますか? 参考にできる本を集めておきます。活用してくださいね!!

イニエーションラブ(転がる男)
傷がマユに出会ったのは、代打で呼ばれた合コンの高。やがて傷らは恋に落ちた。恋愛小説だと思っていたら・・・。
「最後の5分すべてが運命。あなたはぜひ2回読んで」と映画にチラシがあります。小説もぜひ!!



秋の読書まつり

としかん通信

第4号
2015.10.30(金)
流山南高校図書館発行

絵本で知る戦争
★『鳥が鳴くとき』(レイモンド・スリッパス)
イギリスの田舎に暮らす少女と一軒家のどくどく女主人を対峙させた戦争。戦争がはじまり、ある日爆撃機が落とされ、政府の言うとおりに、シェルターから出ずに、ただじっと待つが果ての果てです。戦争だということを知らないふたりは、しだいに身体が重くなり・・・。
★他に、『地雷でなく花をください』『隠し持っています』『ぼたもちのゲン』『絵で読む歴史の扉』『ひろしきのピカ』『バスターの図書館員』などがあります。

写真集で知る戦争
★『ノーマー ヒロシマ・ナガサキ』
顔や体が焼けただれた人々、荒廃と化した瓦礫の、想像を待たず人々の写真や、遺物を題材にした絵画などが載っています。もっと詳しく知りたい人は、『長崎原爆写真集』『広島原爆写真集』があります。その他、『1 個人の戦時史』シリーズもおすすめです。戦中・戦後のことがよくわかります。

今年には戦後 70 年
小説・絵本・写真集で戦争を学ぼう!!

今年読んでる感が好き
『いつだって、読者日記』
2015 最新巻 読者週間 10月7日～11日

小説で知る戦争
★『出口の仔鳥』(横山秀夫)
昭和19年太平洋戦争末期、「空天特別攻撃隊」が活動。回天は、自らの命を捧げて、敵艦に炸弾を投ずる人間兵器のこと。ビスマルク海で大学野球を種にした甲子園選抜投手の隊員は、なぜか回天への進軍を決意したのだろうか。
他に、『続わらざる』『戦後のローレライ』『櫻井晴歌』『永遠の0』(西田良樹) など、いろいろあります。

軍事力・軍国で知る戦争
★『超図解でよくわかる 現代のミサイル』
ミサイルとロケットの違いは結構力を持っているかどうか。エンジンのしくみや防衛システムなどがわかります。他に『Q&Aで読む日本軍入門』があります。
★『軍国の歴史 5000年』
ローマ騎士の服から現代の軍服までイラスト付きで解説。各国の軍の発展の歴史も出ています。

読書ベスト3 ～4月から今まで～
【よく読まれた本】
第1位 『半生にのりつがで1年で帰国 4.0上げて』(8人) 『東洋大学に入学後編 1年経たず』(河田 慎貴)
『おかん』(藤田 伊織)
『アオハライ 7』(柴田 伊織)
第2位 『ぼたもちの娘』(西尾 結新)
第3位 『ぼたもちの娘』(西尾 結新)
第4位 『ぼたもちの娘』(西尾 結新)
第5位 『ぼたもちの娘』(西尾 結新)
第6位 『ぼたもちの娘』(西尾 結新)
第7位 『ぼたもちの娘』(西尾 結新)
第8位 『ぼたもちの娘』(西尾 結新)
第9位 『ぼたもちの娘』(西尾 結新)
第10位 『ぼたもちの娘』(西尾 結新)

読書週間の始まりは??
1947(昭和 22)年、戦後の2年後に、出版社・書店・図書館などが協力して実施。
シンボルマークは、なぜかろう??
ふくろはギリシャ神話で、学問・技芸・知恵を司る女神アテナの使者とされ、古代のギリシャ人たちは、「ふくろ」を知恵の象徴として大切にしていた。
赤いふくろ、静かに顔にふける「ふくろ」の姿が、読書週間のシンボルマークとしてもっともふさわしいものと考え、決めたのがこのデザイン。(読書推進委員会HPより)

もうすぐハロウィン
『ハロウィン』の題意は、「All Hallow's eve」が訛って、「Halloween」と呼ばれるようになったとされている。
ケルト人の1年の締めは、10月31日、この日は死者の霊が夜を徘徊する日とされている。同時に、若い女性や童女も出でくると信じられていました。これらから身を守るために仮面をかぶり、菓子の投げやりをした。それに使われたのがカボチャで作った「おぼけかぼちゃ」でした。
図書館の入り口と天井がハロウィンモードになっています。是非来てね!!

新しい味がたくさん入りました!!
夏休み8人の図書館員と日誌(本の歴史)に本を買いに行ってきた。購入した本は8冊だった。
その時に購入した本を裏面に一部紹介しました。どんな本が入っているか、ぜひ見て来て下さいね。図書館の廊下と入り口の廊下に表紙のコピーを貼ってあるので本選びの参考にしてください。

自分の好きな本を見つけてください。

